
九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 10 月 6 日 第 342 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次回の発行日は平成 28 年 10 月 20 日（木）となります。

◆ 目次

1 現場リポート

- ・「Public Pitch in 九州」「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」を開催～全国で初めての日本版DMO候補法人意見交換会を開催～
- ・秋の全国交通安全運動で交通安全のメッセージを発信～秋の交通安全フェア in 久留米が開催～
- ・運輸安全マネジメントセミナーを開催しました～運輸安全マネジメント制度の更なる浸透・定着のために～
- ・「地域鉄道活性化に関する研究会（補助金等勉強会）」を開催しました。～補助金業務の円滑・適正化と地域鉄道の再生・活性化に向けて～
- ・大規模災害時における円滑な支援物資物流システムの構築のための協議会を開催しました～中国・四国・九州の広域エリアでの災害に強い物流を目指します～
- ・改正物流総合効率化法の地方説明会を開催しました～人手不足にも負けない便利で効率的な物流を実現します～
- ・「密閉区画内作業の酸欠・中毒事故防止講習会」を開催～命を守る3つのおまじない「測定」「換気」「保護具・監視人」～
- ・「小型船舶合同安全パトロール」を実施～遵守事項の徹底と事故防止への協力依頼～
- ・「やまと学校」で卒業式が開催されました。～ボートレーサーとしての旅立ちの日～

2 お知らせ

- ・「いまり海の駅」で『ボート&水上バイク無料体験乗船会』が開催されます。～同時開催「第14回青い羽根チャリティーMarina Sunset Live 2016」～
- ・くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！～レイルフェスタ九州2016～
- ・「自動車点検整備推進運動」強化月間、実施中～点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活～
- ・九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場リポート

- ◆「Public Pitch in 九州」「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」を開催～全国で初めての日本版DMO候補法人意見交換会を開催～

◎ベンチャー企業が日本版DMO候補法人等に対して、自社の持つサービスを紹介する「Public Pitch in 九州」と、観光地域づくりの舵取り役として期待される法

人の「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」を開催しました。

◇概要

・9月20日、トーマツベンチャーサポート（株）・有限責任監査法人トーマツが主催（後援：観光庁）となり「Public Pitch in 九州」を開催、37団体55人が参加。
・引き続き、九州運輸局が主催となり「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」を開催、九州の全12登録法人（8月末）のうち、台風接近のため欠席した1法人を除き、11法人33人が参加。

◇内容

・「Public Pitch in 九州」では、ベンチャー企業7社が、日本版DMO候補法人の他、これから登録を目指す関係者（観光協会、関係自治体）、民間企業に対し、例えば専用アプリで商品のバーコードを読み込むと多言語で翻訳されるなど、観光産業の振興に寄与する自社の持つサービスなどを紹介。
・全国初の試みとなる「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」では、活動を始めたばかりのDMOもあり、先行するDMOの取組み状況や課題の共有化など、大変熱の入った意見交換会となりました。今後も、定期的に意見交換会を開催する予定です。

◇九州運輸局からのメッセージ

・日本版DMO（Destination Management/ Marketing Organization）とは、地域における多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人であり、今回の「Public Pitch in 九州」も成功裏に終わり、「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」も大変熱の入ったものとなりました。意見交換会終了後の懇親会を通じて、出席者全員の一層の連携が強化されたことを確信しています。

◇「Public Pitch in 九州」と「九州地域日本版DMO候補法人意見交換会」の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_1.pdf

◆秋の全国交通安全運動で交通安全のメッセージを発信

～秋の交通安全フェア in 久留米が開催～

◎秋の全国交通安全運動（9月21日から30日までの10日間）の福岡県民向け主要行事として「秋の交通安全フェア in 久留米」が開催されました。

◇概要

・交通事故をなくす福岡県民運動本部（福岡県、福岡県警察、九州運輸局ほか）、久留米市交通安全対策協議会の主催で県民の交通安全に対する関心と理解を深めるため、久留米シティプラザで「秋の交通安全フェア in 久留米」を開催。

◇内容

・第1部：高校生から「花の小鉢」の贈呈、幼稚園児の交通安全宣言等、市民が交通安全に関するメッセージを発信
・第2部：福岡県警察音楽隊による演奏で安全・安心のアピール
・一番街アーケードから西鉄久留米駅で参加者による交通安全啓発物等（交通安全

運動や踏切事故の注意喚起のビラ等)の配布

◇九州運輸局からのメッセージ

・交通事故防止のために、皆様一人一人が交通安全について考え、ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、道路交通環境の改善に向けて取り組んでいきましょう。

◇交通安全フェアの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_2.pdf

◆運輸安全マネジメントセミナーを開催しました

～運輸安全マネジメント制度の更なる浸透・定着のために～

◎九州運輸局では、9月26～29日の4日間に、運輸事業者の安全担当者を対象とした「運輸安全マネジメントセミナー」を開催しました。

◇概要

・国土交通省では、運輸安全マネジメント制度の普及・啓発、浸透・定着に向けた取組として、「運輸安全マネジメントセミナー」を各地方運輸局等において定期的に開催しており、九州運輸局でも9月26～29日の4日間に5つの講義を開催。運輸事業者の安全担当者約350名が参加。

◇内容

- ・ガイドラインセミナー（4時間）
- ・内部監査セミナー（4時間）
- ・リスク管理セミナー（4時間）
- ・ガイドラインセミナー（主に貸切バス事業者を対象とした内容）（4時間）
- ・リスク管理セミナー（主に貸切バス事業者を対象とした内容）（4時間）

◇九州運輸局からのメッセージ

・運輸安全マネジメント制度は、運輸事業者の安全確保のための取組を国土交通省が評価するものであり、平成18年10月から実施し、本年10月で10年を迎えます。この間、約6000名の運輸事業者に対して評価を行い、組織としての安全対策を強化する企業が着実に増加しています。また、各輸送モードでの事故発生率等において概ね減少傾向が見られております。今後もセミナーや評価を実施し、運輸事業者の安全管理体制が構築・改善されるよう取り組んでいきます。

◇セミナーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_3_2.pdf

◆「地域鉄道活性化に関する研究会（補助金等勉強会）」を開催しました。

～補助金業務の円滑・適正化と地域鉄道の再生・活性化に向けて～

◎九州運輸局では、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構と合同で、9月30日に福岡合同庁舎新館において、「地域鉄道活性化に関する研究会」を開催いたしました。

◇概要

・九州運輸局鉄道部、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構の他、国土交通省鉄道局、九州鉄道協会、地域鉄道事業者など計46人が参加。

◇内容

- ・地域鉄道支援関係予算について
- ・国の補助事業説明
- ・補助金交付手続き・積算業務、地域鉄道の補助金に係るアドバイス事例集について
- ・地域鉄道の再生・活性化に係る情報提供について
- ・意見交換（グループ討議）

◇九州運輸局からのメッセージ

・本研究会は2部構成となっており、前半は地域鉄道の支援に係る補助金の説明会を行い、後半は地域鉄道事業者が班毎に分かれて地域鉄道の活性化に係る意見交換を行いました。今年度の意見交換テーマは、全国共通テーマである「沿線自治体や沿線住民の協力を得るために行ったこと（行っていること）」と、九州独自テーマである「魅力ある鉄道（軌道）会社にしていくための取り組み」の2つで意見交換をしていただきました。参加者からは、「他の事業者と情報交換をする機会が少ないので、大変有意義だった」とか、「地元自治体との連携がこれまで以上に重要になってくる」等の話があり、今後に向けて活発な意見交換ができた様子でした。

引き続き地域鉄道の活性化のために、様々な支援や取組を行ってまいります。

◇本研究会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_4.pdf

◆大規模災害時における円滑な支援物資物流システムの構築のための協議会を開催しました

～中国・四国・九州の広域エリアでの災害に強い物流を目指します～

◎九州運輸局では、中国運輸局、四国運輸局と連携し、9月27日に福岡市において、大規模災害時の多様な輸送手段を活用した支援物資物流システムの構築に関する協議会を開催しました。

◇概要

・本協議会は、九州大学大学院の星野教授を座長として、九州、中国、四国の各地方運輸局、各県の危機管理・防災担当部署、物流関係団体、日本貨物鉄道等から選定された委員37名により構成、2回の協議会と情報伝達訓練を行ったうえで、年度内に報告のとりまとめを行う予定。

◇内容

- ・南海トラフ巨大地震等の大規模災害が発生した場合に、広域的な支援物資輸送を迅速かつ円滑に行うためのシステムの構築するため、主に次の内容について検討。
- ・多様な輸送モードを活用した支援物資物流の現状把握
- ・主要結節点の施設情報リスト作成
- ・多様な輸送モードを活用した支援物資輸送のケーススタディの作成

- ・情報伝達訓練の進め方
- ・支援物資物流システムの構築に向けた課題と対応策の検討

◇九州運輸局からのメッセージ

・大規模災害時における支援物資輸送においては、交通インフラ等の被災も想定されることから、鉄道、内航海運、トラックなど多様な輸送機関が状況に応じて円滑に連携・連結し、支援物資輸送を行う体制を整えておくことが求められています。

また、被災地に十分な支援物資が供給されるためには、国による物資輸送のみならず、周辺応援県や全国の都道府県からの迅速な物資輸送が重要となることから、支援物資輸送に関する地方自治体相互間の応援体制の整備も不可欠となっています。

本協議会では、九州、中国、四国の広域エリアにおいて、多様な輸送モードによる支援物資のケース・スタディや情報伝達訓練の実施など実践的な調査及び検証を行うことにより、即応性、汎用性の高いシステム構築を目指すこととしています。

◇協議会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_5.pdf

◆改正物流総合効率化法の地方説明会を開催しました

～人手不足にも負けない便利で効率的な物流を実現します～

◎九州運輸局は、物流事業者及び地方自治体の担当者を対象とした「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」（物流総合効率化法）の改正に関する説明会を開催しました。

◇概要

・9月7日、福岡合同庁舎新館において改正物流総合効率化法の地方説明会を開催、多様な関係者の連携により物流ネットワーク全体の省力化・効率化を進めることが不可欠となっている現状を踏まえ、改正法の概要を説明し、輸送網の集約やモーダルシフト、輸配送の共同化などの取組の推進を提案。説明会には、荷主・物流事業者・地方自治体等の担当者113人が参加。

◇説明会内容

- ①主催者挨拶：九州運輸局交通政策部長
- ②改正法説明：国土交通省 総合政策局 物流政策課
 - ・改正物流総合効率化法の概略説明
 - ・モーダルシフト、輸配送共同化事業の説明
 - ・輸送網集約事業の説明
- ③個別相談会

◇九州運輸局からのメッセージ

・昨今、急激な人口減少・少子高齢化に伴い、物流分野の担い手不足が懸念される中、我が国産業の持続的成長と豊かな国民生活を支えていくうえでは、関係者が連携して物流ネットワーク全体の総合化・効率化を図

っていくことが強く求められているところであり、本年10月1日から施行された「改正物流総合効率化法」の円滑な運用に向けて説明会を開催したものです。

改正後の物流総合効率化法を、物流事業者をはじめ多くの関係者にご活用いただくため、今後とも事業計画申請のサポートを行ってまいります。

◇説明会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_6.pdf

◆「密閉区画内作業の酸欠・中毒事故防止講習会」を開催

～命を守る3つのおまじない「測定」「換気」「保護具・監視人」～

◎九州運輸局福岡運輸支局では、門司・小倉・苅田地区船員労働安全衛生協議会、船員災害防止協会九州支部と連携し、「密閉区画内作業の酸欠・中毒事故防止講習会」を開催しました。

◇概要

・9月16日、北九州港（門司区旧大連上屋）にて、当地初めての「密閉区画内作業の酸欠・中毒事故防止講習会」を、船員災害防止協会九州支部、門司・小倉・苅田地区船員労働安全衛生協議会主催、九州運輸局福岡運輸支局後援により開催、「座学」「実技」の両講習に船員や船舶所有者、関係団体等の37人が参加。

◇内容

・講習会の座学は、命を守る3つの「おまじない」である「測定」「換気」「保護具・監視人」の必要性を学び、実技では検知器具、呼吸器の正しい使用方法や救出器具の取り扱いを受講者自らの手により実施。

・受講者からは、「事故防止対策の重要性や実際に器具の使用体験ができ、大変参考になった。」との感想。

◇福岡運輸支局からのメッセージ

・船員、船舶所有者、関係団体等関係者に船員の安全確保と船内衛生の向上のための対策について、今後も取組を進めていきます。

・業務等の都合により受講できなかった関係者のため、講習会の模様をDVDにおさめ、配布することで管内の船員災害防止に役立てていきたいと思っております。

◇講習会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_7.pdf

◆「小型船舶合同安全パトロール」を実施

～遵守事項の徹底と事故防止への協力依頼～

◎九州運輸局福岡運輸支局では、門司海上保安部、関門地区小型船舶安全協会と連携し、関門港周辺海域において活動するプレジャーボートや小型漁船を対象に「小型船舶合同安全パトロール」を実施しました。

◇概要

- ・ 9月25日、関門地区小型船安全協会所属のパトロール艇3隻に同協会指導員、福岡運輸支局職員、門司海上保安部（交通課、航行安全課）保安官がそれぞれ乗船し、関門港（田野浦～太刀浦沖周辺海域）の洋上において、プレジャーボートや小型漁船に対し、「小型船舶合同安全パトロール」を実施。
- ・ 9月27日、福岡運輸支局職員にて、苅田町漁業協同組合、簗島漁業協同組合、行橋市漁業協同組合、豊築漁業協同組合、吉富漁業協同組合所属の小型漁船に対し、陸上から「小型漁船安全パトロール」を実施。

◇内容

- ・ プレジャーボートや小型漁船の船長等に対し、「発航前の点検」、「救命胴衣の着用」、「適切な見張り」の遵守事項の徹底や気象・海象情報の入手・活用を直接指導するとともに事故防止への協力を依頼。
- ・ 小型船舶検査（船検）の受検、小型船舶操縦者免許証の更新についての注意喚起。
- ・ 事故防止のための「AIS（船舶自動識別装置）」導入の呼びかけ。
- ・ 平成28年7月から、「発航前の検査」及び「見張り」の未実施が、小型船舶操縦者法に基づく遵守事項違反となり、行政処分の対象となったことの周知。

◇九州運輸局福岡運輸支局からのメッセージ

- ・ 船舶事故隻数の75%が小型船舶であり、事故原因の「見張り不十分」、船体機器整備不良、「機関取扱不良」を合わせると約50%となります。
- ・ 本年は小型船舶の安全対策として、今回の合同安全パトロールの他に福岡県門司警察署との「小型船舶合同安全パトロール」や門司海上保安部と企画した「小型漁船合同安全講習会」等を実施してきましたが、今後もプレジャーボートや小型漁船等の事故減少を目指して関係機関と連携を図り、合同安全パトロール等を通じて周知活動等に取り組みます。

◇パトロールの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_8.pdf

◆「やまと学校」で卒業式が開催されました。

～ボートレーサーとしての旅立ちの日～

◎9月21日、日本で唯一のボートレーサー養成施設である「やまと学校（柳川市大和町）」において、第119期選手養成訓練生の卒業式が開催されました。

◇概要

- ・ 卒業式では、植木校長から27人の卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、待鳥九州運輸局海事振興部長をはじめ出席した来賓の方々から祝辞が贈られました。
- ・ 最後に祝辞を述べられた日本モーターボート選手会の上瀧会長からは、プロとしての心構えを説いた激励の言葉が贈られ、高倍率の厳しい競争を勝ち抜いてきた卒業生たちの緊張感に満ちた表情が、これからの活躍を予感させてくれました。

◇内容

- ・ 学校長式辞：やまと学校校長（植木 通彦氏）
- ・ 卒業証書授与：第119期選手養成訓練生27人（うち女子6人）
- ・ 競走会会長訓示：日本モーターボート競走会会長（潮田 政明氏）

- ・来賓挨拶：九州運輸局海事振興部長（待鳥 明義）、丸亀市競艇事業局長（大林 論氏）、日本モーターボート選手会会長（上瀧 和則氏）
- ・送りのことば：在校生代表（下野 京香さん）
- ・お礼のことば：卒業生代表（齊藤 大将さん）

◇九州運輸局からのメッセージ

・卒業生たちは、これから各地の競走場でプロのボートレーサーとして夢の第一歩を踏み出すこととなります。実践のレースを通じて更なる技量の向上に努め、やまと学校で培った「礼と節」をもとに活躍をされていかれることを期待します。

◇「やまと学校」卒業式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_9_1.pdf

2 お知らせ

◆「いまり海の駅」で『ボート&水上バイク無料体験乗船会』が開催されます。
～同時開催「第14回青い羽根チャリティーMarina Sunset Live 2016」～

日時：平成28年10月9日（日）午前の部 10:00～11:30、午後の部 13:30～16:00
場所：佐賀県伊万里市黒川町福田 20 番地 「いまり海の駅（いまりマリーナ）」

「いまり海の駅」では、マリンスポーツを通じて海に慣れ親しんでもらうため、毎年『ボート&水上バイク無料体験乗船会』を開催しています。今年も上記の日程で実施され、アマチュアバンドの演奏やお楽しみ抽選会、おさかなすくいゲームなども同時開催されますので、ご家族やお仲間を誘って「いまり海の駅」へぜひお越しください。

九州運輸局は「ボート&水上バイク無料体験乗船会」及び「第14回青い羽根チャリティーMarina Sunset Live 2016」を後援しています。

各イベントの詳細は、次の URL からをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_10.pdf

◆くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！
～レイルフェスタ九州2016～

「鉄道の日」九州実行委員会（九州運輸局と九州管内の鉄軌道会社18社で構成）では、多くの方に鉄道に親しんでもらうために、毎年10月を「九州レイルマンス」として様々なイベントを実施しています。また、実行委員では、安全・安心で楽しく、地球にやさしい九州の鉄道の魅力を発信するため毎年「レイルフェスタ九州」も開催しています。

今年4月に発生した熊本地震は九州全域に被害を与えました。なかでも熊本県内の被害は甚大で、今もお避難所などで暮らす人々が多数いらっしゃいます。鉄軌道各社も大きな被害を受けました。南阿蘇鉄道、JR九州豊肥本線の被害は深刻で、現在も一部不通で再開の目途がたっていません。

このような熊本地区の鉄道の復活を支援し、熊本の皆さんを元気にするために「くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！」をテーマに今年は南阿蘇鉄道、熊本電気鉄道、熊本市交通局にスポットを当て、3日間連続で「レイルフェスタ九州2016」

を開催します。

- ・10月8日（土）南阿蘇鉄道 「がんばれ南阿蘇鉄道！」（高森駅で復活イベント）
- ・10月9日（日）熊本電気鉄道 「動く遺産特別試乗&撮影会」
- ・10月10日（祝）熊本市交通局 「初運行！カフェトラム・バルトラム」

皆さんにご参加いただくことで、熊本の鉄道が元気になります。ご来場をお待ちしております。

※イベントは事前申込みが必要なものがあります。お問い合わせや申込書等は、こちらのURLからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_9.pdf

◆「自動車点検整備推進運動」強化月間、実施中
～点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活～

国土交通省では9月、10月の2カ月間を「自動車点検整備推進運動」の強化月間として自動車関係団体等と協力し、点検・整備の必要性について強力に推進しており、九州運輸局では「不正改造車を排除する運動」と連携を図りつつ、街頭検査等のさまざまな機会を捉え、より確実な点検・整備の実施を推進しています。また、各県の自動車整備振興会が主催し、「自動車祭り」や「マイカー点検教室」などのイベントを行っていますので是非ご参加ください。

平成28年度点検整備推進運動強化月間中の主なイベントの開催日、場所、内容は次のURLからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_12.pdf

※開催日、会場等は予告なく変更される場合がありますので、詳細につきましては、各県の自動車整備振興会にお問い合わせください。

点検整備のポスターは、こちらのURLからご覧下さい。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_339_5.pdf

◆九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

こちらのURLからどうぞ。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>

—— 3 九州運輸局ホームページアップ情報 ——

--- 報道発表 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより //////////////////////////////////////
5月1日から始まった九州運輸局の今年のクールビズは、当初9月末までの予定でしたが、10月に入っても気温や湿度の低下が見られないことから、急遽10月31日まで延長しています。九州運輸局は「軽装励行中」です、来局者の皆さま、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_342_11.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
